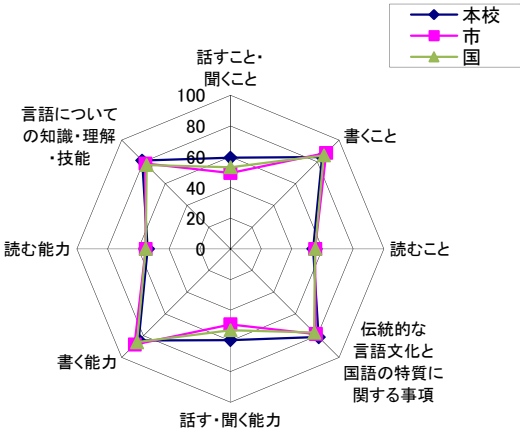


宇都宮市立海道小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

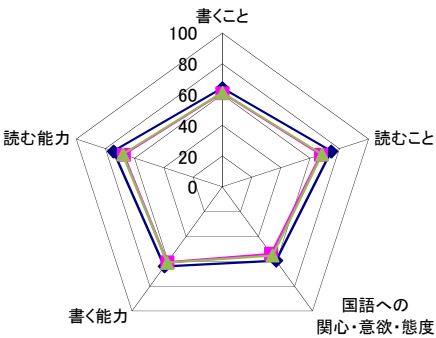
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	59.4	49.3	53.0
	書くこと	84.4	88.2	86.0
	読むこと	53.9	55.2	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.3	78.5	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	59.4	49.3	53.0
	書く能力	84.4	88.2	86.0
	読む能力	53.9	55.2	55.2
	言語についての知識・理解・技能	81.3	78.5	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	64.1	60.9	61.1
	読むこと	74.5	67.4	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	59.4	54.0	55.4
	話す・聞く能力			
	書く能力	64.1	60.9	61.1
	読む能力	74.5	67.4	68.1
	言語についての知識・理解・技能			



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○ 全ての質問において、肯定的回答の割合は全国平均を上回っている。その中でも、「自分の考えを話したり書いたりする」、「うまく伝えるように話の組み立てを工夫する」については85%を超えており、全国平均を20ポイント以上、上回っている。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○ 国語Aの平均正答率は59.4%で、全国平均を6.4ポイント上回る。	・ 今後も授業での話し合い学習の中で、聞き手に分かるように理由を挙げて話す指導や話し手の伝えたいことを聞き取る指導を継続して行い、更なる向上を目指していく。
書くこと	○ 国語Bの平均正答率は64.1%で、全国平均を3.0ポイント上回る。その中でも、目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする設問と声を出して読むときの工夫とその理由を書く設問の正答率は、全国平均を5ポイント以上、上回る。 ● 国語Aの平均正答率は84.4%で、全国平均を1.6ポイント下回る。	・ 書くことを苦手としている児童がいるため、少人数指導教員と連携して一人一人に応じた指導法を考え、書くスキルを身に付けさせていく。 ・ 日記を毎日書かせることで文章を書くことへの抵抗感を少なくしていく。
読むこと	○ 国語Bの平均正答率は74.5%で、全国平均を6.4ポイント上回る。その中でも、登場人物の行動から場面の移り変わりを捉える設問の正答率は、全国平均を14.6ポイント上回る。 ● 国語Aの平均正答率は53.9%で、全国平均を1.3ポイント下回る。その中でも、筆者が引用した言葉を見つける設問の正答率は、全国平均を10ポイント以上、下回る。	・ 授業の中で、問題に対して正しく答える練習や条件をつかんでから答える練習を継続して行っていく。 ・ 説明文や物語の読み取りを学習プリントで繰り返し行うことで読み取り方を身に付けさせていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○ 国語Aの平均正答率は81.3ポイントで、全国平均を4.1ポイント上回る。その中でも、漢字の読みの正答率は3問とも100%である。また、漢字の書きの正答率は、3問中2問、全国平均を5ポイント以上、上回る。 ● 設問別に見ると、適切な文の型を選択する設問の正答率は65.6%で、全国平均を6.1ポイント下回る。	・ 漢字の学習に関しては、ステップアップテストや下の学年の問題を繰り返し行ってきた成果が出た。今後も前学年の漢字の復習を継続して行い、習熟を図っていく。 ・ 文の構成について、朝の学習や家庭学習で復習させるとともに、日記指導の中で個々に応じた指導を行っていく。